

《原 著》

## 慈大式インピンジャを用いた液体捕集による $^{99m}\text{Tc}$ -テクネガスの組成評価法の開発

成田 浩人\*      大下 崇\*      伊藤 太之\*      土田 大輔\*\*  
内山 眞幸\*\*      森 豊\*\*      川本 雅美\*\*\*      富永 滋\*\*\*\*

要旨 テクネガスを液体に捕集する装置を開発し、それを慈大式インピンジャと名付けた。慈大式インピンジャを用いてテクネガスを捕集し、その組成をペーパークロマトグラフィ分析法によって定性的に評価する方法を開発した。

この方法を用いて、テクネガスジェネレータの経年変化等によるテクネガスへの汚染の原因を検証した。

テクネガスジェネレータは、アルゴンガス中への酸素の混入によって容易に異なるテクネガス(異テクネガス)の汚染を引き起こし、その組成を変えることが判明した。テクネガスジェネレータの経年変化による組成の変化も明らかになり、保守点検の重要性を知る結果となった。

本法は、テクネガスの組成を簡便に評価する方法であり、検査薬剤と装置の品質管理を可能とした。

(核医学 38: 211-218, 2001)